

2019年9月29日（日）

主 題：「富の健全な使い方をしなさい」

—富の限界—

テキスト：ヤコブの手紙5章1～6節

はじめに

(例話1)

- 先週の最大の話題は何と言っても、ニューヨーク部で開かれた「気候行動サミット」で演説した、デンの環境活動家グレタ・トゥンベリさんです。トゥンベリさん（16）は、若者を代表して演説し「世代はあなたを見ている。私たちに裏切る道を選ばない」と世界に訴えました。



の国連本
スウェー
グレタ・ト
「未来の
べば許さ
＜グレタ・

＜トゥンベリさん＞

- 学校を休んで、地球温暖化対策を訴える抗議活動の火付け役であるトゥンベリさんは「すべて間違っている。私はここにいるべきじゃない。学校にいるべきなのに」と強調。「私たちは絶滅の始まりにあるというのに、あなたが話すのはお金や永続的な経済成長のことばかり」と政治家や経済界に怒りをぶつけた。さらに「この状況を理解していて行動を怠り続けるなら、あなたは悪だ」と主張した。「あなたが望んでも嫌がっても、ここから、世界は目を覚まし、変化は訪れる」と宣言しました。

- 私たちが毎日、新聞を開きますと、すぐ目に飛び込んでくるのが「お金」の問題です。政治や行政の世界においてもお金の問題があります。会社や共同体においても、お金の問題から汚職事件が起こっています。
- 最近では教育分野でも、お金の問題が発生しました。有名私立大学医学部の入学試験において、お金が動いて関係者の息子が入学していたという問題がありました。お隣の韓国でも、国会議員（次大統領候補の一人）の娘が名門私立大学にコネ（お金）で入学したのではと、大問題となっています。

- (例話2)

9月14日未明、18金でつくられた「黄金英国の世界遺産」でチャーチル元首相の生家宮殿から盗まれました。事件に関連して66捕されましたが、トイレはまだ見つかってい

＜盗まれたトイレ＞



のトイレ」が、
のブレナム
歳の男が逮
ないという。

英BBCによると、同日午前5時前、何者かが宮殿に押し入り、建物に固定されていたトイレを盗みました。配管がなされていたため、周辺は水浸しになったそうです。トイレは480万ポンド（約6億5千万円）相当だと伝えられています。

- ・確かに、お金には大きな力があります。お金は私たちが生きるために必要です。しかし注意しないと、お金は人の心を麻痺させ狂わせてしまいます。一方では、お金は人助けになる尊い働きをすることも確かです。ここに「お金」が持つ鍵があります。
- ・問題はそのお金の「使い方」(用い方)です。聖書はお金について、なんと教えているでしょうか。これは大きなテーマです。今から約2000年前にも、お金の問題が起こっていました。当時は、金持ちと貧しい人との差は大変大きいものでした。
- ・私は、こんな話を聞いたことがありました。
ある人が、あの有名な英国のジョン・ウエスレー牧師に尋ねました。「だれが聖書でいう金持ちでしょうか」するとウエスレー牧師は、「衣・食・住が満たされているとしたら、それ以上のものを持っている人は皆金持ちである。」と返答したそうです。
- ・今日集まっている私たちの中で、着るもの、食べるもの、住む所を持っていない人は、おそらくいないでしょう。私自身も、現在の生活を考えれば、そういう意味で金持ちであります。ヤコブは冒頭で次のように言いました。

ヤコブの手紙5章

5:1 金持ちたちよ、よく聞きなさい。迫り来る自分たちの不幸を思って、泣き叫びなさい。

ヤコブは「金持ちたち」と呼びかけています。

- ・皆さんはこの箇所を、どのように当てはめて読まれるでしょうか。私は金持ちではないので、この箇所は関係ないと思う人もいるでしょう。そうでなくても、他の人と比べると、私はあの人ほどは金持ちではないという考え方を、私たちはしがちです。
- ・金持ちとは相対的なもので、常に比較して言うものです。ですから、どの程度から金持ちと言えるかは、むづかしいことです。そこで、あのウエスレー牧師の言葉から考えると、「金持ちではない」人は、むしろ少数ではないでしょうか。
- ・今から約2000年前、「富んでいる者」は徹底的に富んでいました。しかもそれは非常に少数でした。他の大部分は、現代を基準に考えれば「貧しい」という言葉も当てはまらないほど、徹底的に貧しい状態でした。その富んでいる少数の者たちが、大部分の貧しい人たちに対して抑圧的でした。今日でも、そのような国、地域はあります。昔は日本もそうでした。
- ・それでは、私自身のことを考えながら、このところを整理していきたいと思います。3点

大切なポイント

1. 金持ちたちの限界

5:1 金持ちたちよ、よく聞きなさい。迫り来る自分たちの不幸を思って、泣き叫びなさい。

- ・この聖句は、とても強い言い方です。それは今、金持ちであるかもしれない人に、その状態にも限界があることを教えているからです。人との比較ではなく、今それなりに、豊かな生活が許されているとしても（それは感謝なことですが）、それにも限界があると

いうことです。

- よく言われることですが、有限というものには3つの終わりがあります。

① 「人生の終わり」

私たちはだれもが、人生の終わりを迎えます。いつかは死を迎えなければなりません。この地上においての生涯の終わりが来ることを、私たちは決して忘れてはなりません。

② 「この世の終わり」

聖書はこの世も終わりがあると教えています。次の機会にそのことをお話しできるかと思えます。主イエス・キリストが再び来られ、この世は終わります。私たちはこのことを忘れがちですが、聖書ははっきりと教えています。しっかり、心に留めておかなければなりません。それが、いつであるかは全く分かりませんが、聖書はそれは必ずあると宣言しています。

③ 「繁栄の終わり」

現在の日本は、いまだかつてなかったほどの繁栄ぶりを見せています。その中で私たちの富んだ生活がありますが、それがいつまでも続くと思ってはならないのです。繁栄の終わりは、一步づつ近づいてきます。

- ヤコブは「あなたがたの上に迫って来る悲慘を思っ」てと言いました。そういう可能性があることを、このみことばは教えています。

2. 富の限界

5:2 あなたがたの富は腐り、あなたがたの衣は虫に食われ、

5:3 あなたがたの金銀はさびています。そのさびがあなたがたを責める証言となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くします。あなたがたは、終わりの日に財を蓄えたのです。

- 富はこれだけ握っておれば、大丈夫というものではありません。いや、むしろ人間の心は富を持てば持つほど、食欲いなくなっていくものです。しかも際限なく、「富を求めるものです。
- ここで富が腐るとか、着物が虫に喰われているとか、金銀にさびが来るとか言われています。これは比喩的表現です。とにかく、これだけ握っていれば大丈夫と、多くの人が思い、握りしめている「富」にも限界があることを忘れてはならないと教えています。

3. 自分のためだけの富

5:4 見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。刈り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。

5:5 あなたがたは地上でぜいたくに暮らし、快樂にふけり、屠られる日のために自分の心を太らせました。

1) 不健全な富の使い方

- 今日の日本では、よほどのことがないかぎり、賃金未払いということはありません。しかし、戦前は資本家が労働者を搾取したことがありました。現在は外国からの不法滞在

者が、安い賃金で働かされたりしていることを聞いたことがあります。

- 当時のユダヤ社会でも、富める者が日雇い労働者に賃金を払わなかったこともあったでしょう。聖書はそのような行為を禁じる言葉があります。

レビ記 19 章

19:13 あなたの隣人を虐げてはならない。かすめてはならない。日雇い人の賃金を朝まで自分のもとにとどめておいてはならない。

申命記 24 章

24:14 貧しく困窮している雇い人は、あなたの同胞でも、あなたの地の、あなたの町囲みの中にいる寄留者でも虐げてはならない。

申命記

24:15 その人の賃金はその日のうちに、日没前に支払わなければならない。彼は困窮し、それを当てにしているのだから。彼があなたのことを【主】に訴えて、あなたが罪責を負うことのないようにしなさい。

- ヤコブはまた次のように言いました。

5:5 あなたがたは地上でぜいたくに暮らし、快樂にふけり、屠られる日のために自分の心を太らせました。

- 富む者がぜいたくに暮らし、豊かな食事をとり太っているのは、ちょうど家畜は栄養豊富な餌を与えられ丸々太らされ、その日が来たら屠殺場へ連れていかれるようなものです。
- 今の時代も地球上で何億人もの人々が、飢えています。私たちは食物を粗末にしています。ヤコブがここで警告していることを覚えなければなりません。

- つまりこの3番目の警告は、自分のためだけに富むことへの警告です。このことが大きな問題なのです。

2) 健全な富の使い方

- ジョン・ウエスレー牧師は、「富」ということについて、3つのことを勧めています。

- できるだけもうけなさい
- できるだけ蓄えなさい
- できるだけ与えなさい

- 当時の謹厳質素を強調したメソジスト派教会のことを考えると、はじめの2つは以外です。しかし大事なことは3番目です。何のためにもうけ、なんのため蓄えるのか。もうけたり、蓄えたりすることは、自分のためにではなく、他人のために、神のためでありなさいというのです。
- 皆さん。どうぞ誤解しないでいただきたいです。金持ち、富むこと、お金そのものが悪、あるいは罪ではありません。聖書はそのようには教えていません。私たちがどういう心で、どういうふうにするかということが大切です。
- ウエスレーン牧師は、自分が金持ちになったら、そして死を迎えるとき、自分の

財産をどのように用いるかを述べました。

「もし、自分の子どもが富に対する正しい理解をもち、正しい使い方をわかまえているならば、自分は財産を彼に渡す。しかし、もし彼が物質主義の生き方をしているならば、あるいは信仰をもっていなければ、また信仰をもっているとしても、その生き方が金銭中心で自分のためにお金を使うならば、衣食住の最低限のものを残す。ほかは全部他の人に与える。」

- ・ 私たちはどうでしょうか。もし、自分に金銭の富があるとすれば、自分の子どもたちにどのように対処するでしょうか。
- ・ すべてのものは神のものです。私が持っているものは、神のあわれみのゆえに与えられ、持っていることが許されているのです。ですから、私だけのため、私の繁栄、私の欲望、私の家族のためにだけそれを使うという姿勢であってははいけません。そうではなく、神を第一にささげ、少しでも他の人のために用いるという姿勢こそ大切です。
- ・ 大切なことは人と比べて、あれこれ考えないことです。神が私に許してくださっているものの中で、感謝して生きることです。そのような姿勢を自分のものにするべきです。
- ・ 神は、神である主を第一にする人を決して飢えさせません。神に従っていく者に、常に必要なものを与えてくださいます。私たちは、そうした中にこそある喜びを持って生きていくことができるように、させていただきたいものです。時代の風潮に流されずしっかりと、主とともに歩むことが大切です。

(例 話)

- ・ 2005年1月13日、米国キリスト教ラジオ局 JOY FM が「希望の家」を建てることを計画し、7万5000ドル（約800万円）の募金を呼びかけました。
「希望の家」とは、当時インド発生した津波で、家を失った人々のために家を建てるプロジェクトです。インドでは当時、3メートルX4、5メートルの家が、わずか1000ドルで建てられたそうです。
- ・ ラジオ局が集めようとした目標額は、75軒の家を建てることでした。
しかしその日の終わりには、呼びかけに応じて、なんと75万ドル（およそ8,000万円）もの募金が集まりました。目標額の10倍でした。
その後、この金額が発表されました。するとあるリスナーから電話がありました。彼は、「私たちは家を建てようと考えたが、神は町を建てようと言われたのだ。ハレルヤ！！」と言いました。
- ・ 世の中が平和で社会が繁栄すると、人々はますます地上での生活に心を向けていきます。それは今の時代でも同じです。ここ北浜にも次々と立派なマンションが建てられています。ヤコブの時代がまさしくそうでした。一般民衆は迫り来る破滅には少しも心止めず、ひたすら地上に富を蓄えることに専念していました。
- ・ 当時、神を信じる人々の中でイエス・キリストの教えより、この世の人々と同じように蓄財に心を傾ける者がでてきました。ヤコブは心痛め、富める者にこのような警告を発したのです。
- ・ ヤコブがこの手紙を書いた6年後（AD70年）、エルサレムの都はローマ軍に包囲され完

全に破壊されてしまいました。富む者の豪邸をはじめ、一切のものが一夜にして消滅し。都は崩壊しました。人々は屠殺場で殺される家畜のように、殺害されてしまいました。生き残った人々は、家も財産も土地の一切を失ってしまいました。

- ・その時、生き残ったクリスチャンたちの拠り所は聖書（旧約）だけとなりました。クリスチャンたちはエルサレムの都が消滅したとき、はじめて強くキリスト・イエスのことばを思い出したに違いありません。

マタイの福音書 6 章

6:19 自分のために、地上に宝を蓄えるのはやめなさい。そこでは虫やさびで傷物になり、盗人が壁に穴を開けて盗みます。

6:20 自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。

6:21 あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。

- ・ヤコブの手紙は、このように今日も私たちに語りかけてくれています。

ま と め

主 題：「富の健全な用い方をしなさい」

—富の限界—

- ・今日、私たちは現代にも通じる大切なメッセージを聞きました。神が与えてくださる富の用い方です。富は、神があわれみによって私たちに与えてくださるものです。私たちはその預かりものをどのように、管理しているでしょうか。
- ・私はジョン・ウエスレー牧師の言葉を思い出します。
 1. できるだけもうけなさい
 2. できるだけ蓄えなさい
 3. できるだけ与えなさい
- ・最後に次のみことばをお読みしましょう。

6:20 自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。

6:21 あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。

*God bless you !